NRU-east
National Railway Workers' Union

ダイジェスト版　２０２２年
No２０１−①　５月２６日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋５−15−５　交通ビル7F
発行責任者　伊藤　隆夫
編集責任者　常盤　達雄

エルダーも
プロパー若手も
ベテランも
みんなで取り組む組織拡大

2022年度夏季手当を考える②

夏季手当などについて アンケート実施！

社員の生の「声」今の思いが浮き彫りに

これ以上削減されたら生活出来ない！

国労東日本本部は、５月１３日に夏季手当について「２．７ヶ月＋５万円」の要求を会社に提出しました。そして、社員の生の声を伝えるために、緊急アンケートの取り組みを実施しています（６月１日まで）。

アンケートには２００名（５月２４日現在）を超える社員（国労・社友会・他労組）の皆さんが参加し、今の率直な思いを寄せてくれています。

【一時金の主な使い道は？】

生活費の補填	… 105名
ローン返済	… ６２名
将来に備えて貯金	… ６２名
衣服などの購入	… ２６名
その他	… ３１名

【夏季手当に対する意見は？】

賃金の穴埋めなので削減は困る	… ７１名
仕事量は同じなのに納得できない	… ６７名
黒字化したら削減分を上乗せしてほしい	… ５０名
支払予定があるので削減は困る	… ４４名
今は我慢するしかない	… １２名
転職を考えている	… ４名

アンケートからは、一時金が生活費の穴埋めとなっている状況で、公共料金・物価上昇と、この２年間の一時金削減により、生活が苦しくなっている実態が明らかとなっています。

これ以上の我慢は出来ない！

会社は社員の声に応え、夏季手当 2.7ヶ月＋5万円を支払え！

NRU-east
National Railway Workers' Union

ダイジェスト版　2022年
No 201-②　5月26日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5　交通ビル7F
発行責任者　伊藤　隆夫
編集責任者　常盤　達雄

エルダーも
プロパー若手も
ベテランも
みんなで取り組む組織拡大

会社は現場の努力を見ていない

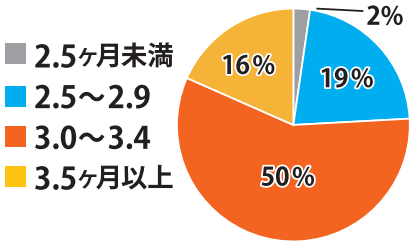
人件費削減は納得できない！

　これまで会社は、様々なコストダウンを行ってきました。職場では無駄な超勤を減らせという号令や、将来のためと称し、さまざまな施策が矢継ぎ早に実施される中で、「これは今やらなくてもいいのではないか？」と感じるものも多数ありました。
　それらのことを反映するように、会社の対応に疑問の声も多く寄せられています。

【会社に対して言いたいことは？】

働く意欲がなくなる削減はやめてほしい	…６４名
経費削減は賃下げ以外でやってほしい	…５７名
現場の努力を見ておらず納得できない	…５４名
雇用は守ってほしい	…４２名
昨年の定期昇給分も戻してほしい	…３８名
経費削減にならない無駄が多い	…３０名

【必要額は？】



【平均2.98ヶ月】

【主な声から】

- 緊急性のない羽田空港アクセス線や高輪ゲートウェイの再開発は見直しを。
- 口だけではない待遇改善で社員の幸福を実現してほしい。
- 業務増、賃金減では離職者が増えるのは当然。「辞めたいなら辞めれば？」という態度に感じられて悔しい。
- 我々の落ち度ではないのに減額は納得がいかない。

　新型コロナの感染拡大により赤字になったことは確かです。しかし、経費削減するために、一時金の削減や定期昇給のカットを行ってきた一方で、将来への投資は予定通りに行い、固定費削減のために様々な施策を進めていることに対しての疑問・不満の声が大きくなっていることがわかります。

生活は待ったなし！社員の声を受け止め、国労要求に沿った支払いを求める！

生活を守る 2.7ヶ月＋5万円を！